

Mint Club

ミントクラブ



造幣局

奄美群島復帰50周年記念

記念銀貨幣セット打初め式



奄美群島復帰50周年を記念して発行された貨幣の打初め式を9月18日（木）に造幣局構内において谷口財務副大臣及び須賀鹿児島県知事（代理出席 和田鹿児島県出納長）をお招きして行いました。



記念銀貨幣セット抽選会

奄美群島復帰50周年記念銀貨幣セットのお申し込み受付を行いましたところ、多数のお申し込みをいただき、販売数量を大幅に上回るお申し込みがあったことから、10月17日（金）に抽選を行いました。



(抽選をしていただいた方々)

2003プロ野球セ・パリーグ優勝貨幣セット（阪神タイガース、福岡ダイエーホークス）、ミッキーマウス2003プルーフ貨幣セット等の抽選会

2003プロ野球セ・パリーグ優勝貨幣セット（阪神タイガース、福岡ダイエー ホークス）、ミッキーマウス2003プルーフ貨幣セット及び平成大判のお申し込み受付を行いましたところ、多数のお申し込みをいただき、販売数量を大幅に上回るお申し込みがあったことから、11月12日（水）及び10月29日（水）に抽選を行いました。



プロ野球セ・パリーグ優勝貨幣セット
(はがきに付された受付け番号の確認)



平成大判
(はがきに付された受付け番号の確認)



ミッキーマウス貨幣セット
(番号抽出のためのボタン操作)

これらの抽選会には、皆様と同様に造幣局の貨幣セットを長年にわたりご購入いただいているお客様の中から抽選者としてお願いし、厳正な抽選を行っていただいております。

多数のお申し込みをいただきありがとうございました。

製造貨幣大試験



製造した貨幣が規定通りに作られているかを確認する恒例の「製造貨幣大試験」が谷垣財務大臣を執行官として財務省主催により、10月20日（月）に造幣局で実施されました。

明治5（1872）年から毎年実施され、今年で132回目となります。今回は、昨年4月以降に製造された貨幣のうち、製造過程で抜き取った1円から500円までの貨幣6種類とアジア冬季競技大会記念貨幣及び奄美群島復帰50周年記念貨幣の計約3万8千枚の重さがてんびんで量られましたが、すべての貨幣が許される誤差の範囲内であることが確認されました。

予告：「造幣局IN福井」の開催を記念する 貨幣セットを販売

造幣局では「造幣局IN福井」の開催を予定しています。開催に当たり開催を記念した「造幣局IN福井」貨幣セット（平成16年銘）を販売することとしています。

1. 開催時期 平成16年3月上旬を予定
2. 開催場所 福井市内

（詳細は、決定次第新聞発表・造幣局ホームページ等でお知らせいたします）

造幣博物館所蔵・外國章牌紹介 7



A | B

A. フリイドリッヒ・トラウゴット・ケツィング肖像牌、表。オオストリア、ウィイン造幣局製。錫と鉛の合金。直徑50mm。重量58.5g。白銀色。燻し着色もニス掛もない。一段覆輪に連珠。ケツィングの右向上半身肖像。肖像の右肩の斜面に「A. SCHARFF」の彫込署名がある。周縁部に「FRIEDRICH TRAUGOTT KÜTZING」の文字。

Friedrich Traugott Kützing (1807～1893) はドイツの植物學者。藻類の研究で知られた人である。「ドイツ藻類學」、「藻類の種」、「藻類圖鑑」等の著書がある。

本章牌の彫刻は寫實に徹し、精妙な肉付けで極めて優れたものである。原型彫刻のアントン・シャルフ (Anton Scharff, 1845～1903) はウィインで美術を學び1866年ウィイン造幣局に入り、多くの貨幣、章牌のデザインと彫刻に從事した。十九世紀後半の最も秀れたメダル彫刻家である。

B. 全左、裏。一段覆輪に連珠。月桂樹の飾環 (laurel wreath)。中央上部にラテン語で「AD ALGAS PROFECTVS EST LAVRVM DEPORTAVIT (藻類の研究が月桂の冠を齎せり)」の文字。その下に一種の藻の形が彫出されてゐる。下部にラテン語で「DIE VIII MENS · DECEMBERIS MDCCCLXXXVII (1887年十二月八日)」の文字。月桂樹の彫りも文字の彫りも非常に美しい。壓寫も良好で疵も無く、汚れも變色も無い。

此の錫と鉛の合金は變色しないので、着色仕上もニス掛も施していないのである。オオストリア造幣局が十八世紀から二十世紀初頭にかけて、特に好んで用いたメダル用地金である。

尚、當博物館にアントン・シャルフの作品は四種所蔵されてゐる。

（元工藝管理官 松岡 隆範 記）

（本稿は、筆者の意向を尊重して筆者の表記をそのまま掲載しています。）

造幣博物館

秋号に続き、造幣博物館1階展示室の史料を紹介します。



1. 分銅原器

秤などで物の目方を計るために使用する分銅の基本標準として用いられたもので、明治39（1906）年東京の守谷衡器製作所より購入されたものです。分銅は、黄銅製のキログラム分銅及び白金製のグラム分銅です。



2. 硫酸銅

創業当時、硫酸製造所で硫酸を製造する過程において産出した巨大な硫酸銅の結晶で、非常に珍しいものです。

2

3. 硫酸ソーダその他工業製品製造設備の模型 (1/10)

創業当時、金銀の分離精製や貨幣円形の洗浄に多数の硫酸を必要とし、これを自給するため、明治5（1872）年イギリス人フィンチを雇い硫酸製造所を開設し、硫酸の製造を開始しました。その後、設備を増設して硝酸、塩酸、アンモニアなどの化学製品も製造するようになり、明治14（1881）年にはソーダ製造所を開設し、硫酸ソーダ、炭酸ソーダ、苛性ソーダなどを製造しました。

写真の模型は、当時化学の大家と仰がれた宇都宮三郎により製作されたもので、



硫酸ソーダの製造設備です。当時は、図面により設備を作ることが発達していなかったため、このような模型を作り、これを基にして建物が建設されました。

このほか、ソーダ塩、粗製ソーダの製造設備模型があります。

3

4. マンチニの絵

明治6（1873）年に、お雇い外国人のイタリア人技師マンチニ（伸金局助役兼機械方で圧延技術や諸機械の操作を指導）が、淀川（現大川）の対岸から眺めた当時の造幣寮（局）の姿を繊細なタッチで描いたものです。

5. 造幣局の創業

明治新政府は、徳川時代の乱れた貨幣制度の立て直しを急ぎ、純正画一な新貨幣を発行する造幣局の建設に全力あげて取り組み、近代造幣工場として明治4（1871）年4月4日に創業式を行いました。当時の面影を残す写真等を紹介します。

①創業式典記念写真

4月4日（旧暦2月15日）、三条実美右大臣（現在の内閣総理大臣にあたる）、参議大隈重信、大蔵卿伊達宗城ら政府関係者やイギリス公使パークスをはじめ諸外国の公使などを招待し、造幣寮（局）からは馬渡造幣頭らの幹部、あわせておよそ100人が列席して盛大に行われた時に、玄関前で撮影された記念写真です。よく見ると列席者の日本人の服装は和洋さまざまです。



②創業当時の錦絵

造幣寮（局）の煉瓦建てのハイカラな建物は、周囲の美しい風景とともにかっこいい画題となりました。この錦絵は、浮世絵師二代目長谷川小信によるもので、小信は造幣寮をよく描いたと見え、ほかにも多くの錦絵を残しています。

先ほど紹介したマンチニの写実的な描き方と対照的なところがおもしろい。



4



館内では貨幣セットやメダルなどの金属工芸品を販売しています。
ご来館時にお立ち寄りください。

研究と収集



利光三津夫
慶應義塾大学名誉教授
清和大学名誉学長
法学博士

図示の一分金は、慶長古銅一分金とよばれているもので、慶長6年、実質的に全国政権化した徳川家が、最初に発行した金貨の一つである。

この一分金を詳細にしらべると、表面右端桐文（一分金は、桐文が表、光次刻印が裏である）の縁に、二重の円点がみられ、さらに、額縁の直線の一部がみえている。慶長一分金の縁辺は、一重の円点で、かのような刻印はないから、それは何か別のものの上に、二重に打たれたと考えられる。このわずかに痕跡をとどめている貨幣が、2年前の慶長4年頃、徳川氏金座（当時は小判座とよばれていた）において、鋳造された額一分であることは、ほぼ疑いがない。縁の額線の一部は、まさに現存する額一分金のそれと一致する。

額一分は、いまだ徳川氏が、豊臣氏の一大名であった時、関東一円の徳川領に通用させるために作られた領国貨幣であり、この種の貨幣は、豊臣政権下では、ほぼ同格であった前田家でも作られている。鋳造責任者は、京都後藤本家より派遣された橋元庄三郎（養子となり改姓して後藤庄三郎）であり、裏面の「光次」は、そのいみなである。

ところが、徳川氏は、慶長5年の関ヶ原の戦いにおいて、大勝し、急成長、天下の権をにぎった。家康は、それ以前より、全国統一貨幣の発行を計画していたが、ここに自らの名の下にそれを実現できる基礎を築いたのである。

したがって、額一分と慶長古銅一分とは、その鋳造年月日は、きわめて近接しているが、その鋳造発行の目的は大いに異なったわけである。

領国貨幣と、全国統一貨幣との間には、その発行必要量において大差がある。ここにおいて、金座は、小判とともに一分金の大増産をせまられたことと思われる。

ところが金座では、この頃、小判師と称する自家営業の職人集団が、諸国の金を買い集め、金貨を鋳造し、これに後藤家が刻印をおすという、いわゆる「手前吹き」を主体としており、他に金座直営のものもあったがとにかくまことに手工業的、非能率な鋳造方式が行われていた。領国貨幣をこつこつと手づくりで作っていた金座にとっては、大増産の結果生ずるノルマの達成はなやみの種となつた

と思われる。そこで考えつくことは誰でも同じであろう。既に完成している不要となった領国貨幣を改造して、新貨幣の数を増やすことである。

幸い額一分の裏の「光次、花押」は、慶長一分も同じである。表面に新しい桐刻印を打ち込めば、これを改造することは簡単である。

私は、かくして作られたものが、図示の貨幣であると考えている。当時金座が所有していた額一分は、百枚や、二百枚ではなかったはずである。したがって、この種の改造一分金も相当数あったと思われる。しかし、桐刻印が正確にうたれれば、古銅一分の大きさは、額一分とほぼ同じであるから、土台の模様は消失する。図示の貨幣の場合には、額一分の刻印が、ややななめに打たれ、更に慶長一分の刻印が左にづけたために、額縁の一部が残存してしまったものと思われる。

とすれば、この貨幣は、いわゆる「天下様」になり上がった家康が、勢いにまかせて全国統一貨幣の発行に邁進し、結果として金座が鋳造能力をこえる状態にたちいたつていていたことを示すものであつて、貨幣史上、興味深い資料といわざるをえない。

さて以上は、研究者としての立場の所論である。収集家としての気持ちは、これとは全く異なる。

慶長古銅一分金は、後期の慶長一分にくらべて、伝存する数がまことに少ない。したがって、収集家は、慶長一分を見る度に、一分の「一」が、玉縁に入りこまず、その前で止まっているかどうか、桐文右端上部の円点がいくつあるかなどというすでに指摘されている両者の相違点を神経質にしらべ上げる。

しかし、額一分金の現存数は、古銅一分よりも二けたも三けたも少なく、その収集価値には大差がある。普通の収集家にとって、額一分金入手できる機会は、一生の間に一度か二度とさえいわれている。

したがって、改造などせずに、そのままにしておいてくれたらよかったのにというのは、収集家の偽らざる気持ちである。

研究と収集との間には、谷があり、この谷をうめることは、まことに困難である。

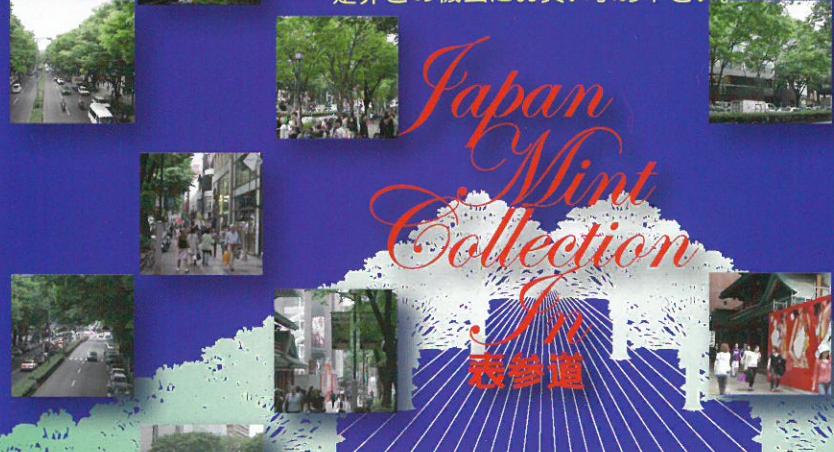
近時、私は、研究と収集との両者を総合して、貨幣学の確立を計画しているが、「前途程遠し」といわざるをえない。



慶長古銅一分金

額一分金の上に、
桐文を打ち込んだ
ものと思われる

お買い忘れ、まだお求めいただいている方に
是非この機会にお買い求め下さい。



Japan Mint Collection in 表参道

造幣局 IN 表参道



表参道ブルーフ貨幣セット
7,500円

2003 Proof Coin Set



桜の通り抜け貨幣セット
1,900円



記念日セット
2,100円

お買い求めは、「造幣局お客様サービスセンター」にお願いします。

平成16年銘貨幣セットの販売予定

コレクションや記念品、贈りものとしてお買い求め下さい。



記念日貨幣セット（録音機能有り・無し）
大切な人への贈りものに写真とともに
メッセージ、または、あなたの声を添えて
2,100円（録音機能無し）
3,000円（録音機能有り）



ジャパンコインセット
海外へのお土産に最適な貨幣セットです。
平成16年は日本三景（松島・天の橋立・宮島）
をテーマとしました。 2,000円



ペーパーウェイト
お部屋や職場のインテリアとしてご利用
いただけるおしゃれな貨幣セット
4,000円

上記貨幣セットにつきましては、2月以降に造幣局構内販売所、インターネット等で販売させていただく予定です。（送料は別途ご負担となります）詳細は下記にお問い合わせください。

お問い合わせ先
造幣局お客様サービスセンター

TEL 06-6351-2626

お掛け間違いのないようお願いします。

平成16年1月～3月の貨幣セット販売予定

販売区分	種類	販売予定期間	参考
通信販売貨幣セット	通常ブルーフセット（年銘板有）	円 7,500	2月以降 2月以降
	通常ブルーフセット（年銘板無）	7,350	
通年販売貨幣セット	記念日貨幣セット	2,100	いずれも平成16年銘 です。
	記念日貨幣セット（録音機能付）	3,000	
	ペーパーウェイト	4,000	
	ジャパンコインセット（フル）	2,000	

注1：販売時期については、予定ですので変更する場合があります。

注2：貨幣セットに関する情報は、インターネットでもご覧になれます（<http://www.mint.go.jp/>）

発行所 独立行政法人造幣局

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目1番79号

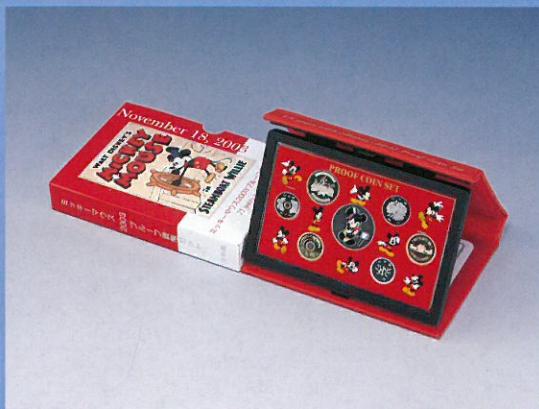
電話 06 (6351) 6928

造幣局ホームページ <http://www.mint.go.jp/>

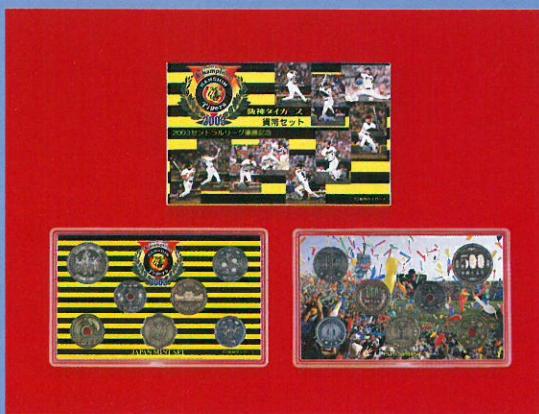
編集兼発行 事業部事業企画課顧客サービス室

平成16年1月1日発行（第7号）

このミントクラブはエコマーク商品に
認定された再生紙を使用しています



© Disney



© 阪神タイガース



© 福岡ダイエーホークス

Japan Mint